

# チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

## 第30回

### 別府真也氏 (声楽家、藤原歌劇団・正団員)

#### ——タイトルロールのオペラ歌手を目指して!

一般社団法人 光楓座 代表理事

佐藤建吉

連載

#### ▼風力から、オペラに

今回紹介するのは、藤原歌劇団正団員の別府真也氏である。彼との出会いは、いまから22年前にもなるが、千葉大学の筆名の研究室に所属する学生として始まった。当時は、風力発電の研究も行っており、風況のシミュレーションの研究や、NEDOの同様の研究などに着手して頂いた。実は、彼は修士論文の研究なども行っていたが、現在の職業からして、ほかの学生とは異なる研究室生活であった。これは、筆者からの見方であり、別府君の立場に立てば、極めて普通の生き方であったかもしれない。

#### ▼風力で修士論文を

別府真也氏は、当時、学生として風力発電の先進地である千葉県銚子の風力にも関わっていた。それは、当時、千葉県銚子高校に務める平塚四郎先生(その後故人)の紹介で、筆者も銚子の方々と知り合いになった。銚子電鉄の向後氏、NPOの戸谷氏ほかである。キーパーソンとして平塚先生は進路指導の

倒れない生き方、別の言い方をすればオルタナティブな生き方を紹介したい。今回のコラムを書くにあたって、同君とオンラインでインタビューをした。それは、筆者の知らない多くの側面を知ることが出来た。ただし、大学院を出て、20年以上が経つがこの間、無縁であったという訳ではなく、今回紹介する「オペラ」の関わりでは、筆者もコンサートに参加し

バリトンで歌う別府氏



たり、筆者のイベントで歌って頂いたりもした。先生だったが、定年までの自身が千葉大学に編入学し、高校の生徒を次々と送り込んだ。つられて在職中の向後氏も社会人学生として入学し、嬉し〜も楽しくも、さらには誇らし〜も思うのである。

先生だったが、定年までの自身が千葉大学に編入学し、高校の生徒を次々と送り込んだ。つられて在職中の向後氏も社会人学生として入学し、嬉し〜も楽しくも、さらには誇らし〜も思うのである。

その後、さらなる研鑽のために、自分でホームページやメールでコンタクトしたが、一人の先生から面会が許されたという。三浦克次先生で、実は千葉大学のある西千葉に住んでおり、別府君の下宿とも近かった。また、ダブルスクールの様な生活が始まった。実は、こうした二兎を追う生活であったので、千葉大の卒業は半年遅れた。音楽のレッスンを続けるために、今度は大学院に進学しようと考え、筆者の研究室にやって来たのだ。学生としての身分を保つため、とりあえず研究生活となり、1年半後に、大学院に進学した。

実は、千葉大学には教育学部の音楽教師になるコースの学生向けに、立派な防音対策が施された音楽練習ホールがある。そこは別棟であり、空き時間には、他学部の学生も出入りし、独唱やらグループで練習が出来たといい。こうして、九州から千葉に来た別府君にとっては、千葉大学はなかなかいい環境であった。しかし、筆者としては、研究室にはあまり姿

を観ない別府君であったが、こうした行動をしてきたとは、つゆにも知らなかった。

#### ▼北九州から、千葉に

同君は1977年10月に北九州市小倉で寺院の息子として生まれた。その後、北九州高専の制御情報工学科に入学した。専門以外では高専に親しみ西日本大会で同校は優勝したとい、その結果に別府君も貢献したという。弓道で優勝というトップを究めたので、別府君の転向を決意した。

#### ▼藤原歌劇団に入団

千葉大学大学院を一年遅れて修了した別府君は、4月からは藤原歌劇団の養成所に入団した。入団試験を通り抜けたことである。当時の別府君は、進路が決まり、修了式でも元氣のある様子であった。藤原歌劇団で3年間を過ごし、三浦先生と同じく、国際ロータリー財団の奨学生としてイタリアに留学した。この時、ソプラノ歌手の寺田彩さんという伴侶を得て、一人でイタリア留学を果たした。2010年

#### ▼公演会に参加

インターネットの時代、あるとき別府君から公演のお知らせが来た。何回か見せて頂いているが、2017年3月5日は、オペラ「よさこい」が新国立劇場中劇場で開催された。開催一日目、3月5日に別府君が出演した。写真の知恵者歌京の役であった。東京公演の後、はりやま橋の高地でも開催された。2018年4月29日に、久我山会館で、「ドンジョヴァンニ」の主役を演じた。その時の挿入曲「Never Don

#### ▼オペラ歌手として

オペラ歌手は、いわゆる声楽家でもあるが、両者の違いとしては、「オペラ歌手」は衣装を着てメイクし歌うのだから、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第27期生修了者である。一方、声楽家はコンサート歌手として渡伊。ミラノ音楽院にて声楽、アルテシエニ(舞台表現法)を学ぶ。筆者は2021年10月9日に、現代詩家、茨木G・ロルミ、L・マルツァリアの各氏に師事し、北九州シティオペラ正団員、藤原歌劇団員。



「仮面舞踏会」のトム役として

その後、さらなる研鑽のために、自分でホームページやメールでコンタクトしたが、一人の先生から面会が許されたという。三浦克次先生で、実は千葉大学のある西千葉に住んでおり、別府君の下宿とも近かった。また、ダブルスクールの様な生活が始まった。実は、こうした二兎を追う生活であったので、千葉大の卒業は半年遅れた。音楽のレッスンを続けるために、今度は大学院に進学しようと考え、筆者の研究室にやって来たのだ。学生としての身分を保つため、とりあえず研究生活となり、1年半後に、大学院に進学した。

その後、さらなる研鑽のために、自分でホームページやメールでコンタクトしたが、一人の先生から面会が許されたという。三浦克次先生で、実は千葉大学のある西千葉に住んでおり、別府君の下宿とも近かった。また、ダブルスクールの様な生活が始まった。実は、こうした二兎を追う生活であったので、千葉大の卒業は半年遅れた。音楽のレッスンを続けるために、今度は大学院に進学しようと考え、筆者の研究室にやって来たのだ。学生としての身分を保つため、とりあえず研究生活となり、1年半後に、大学院に進学した。

その後、さらなる研鑽のために、自分でホームページやメールでコンタクトしたが、一人の先生から面会が許されたという。三浦克次先生で、実は千葉大学のある西千葉に住んでおり、別府君の下宿とも近かった。また、ダブルスクールの様な生活が始まった。実は、こうした二兎を追う生活であったので、千葉大の卒業は半年遅れた。音楽のレッスンを続けるために、今度は大学院に進学しようと考え、筆者の研究室にやって来たのだ。学生としての身分を保つため、とりあえず研究生活となり、1年半後に、大学院に進学した。

風力発電はよく風まかせと揶揄される。筆者の研究室は学生任せであったので、そうした雰囲気は、彼には都合よく、音楽の勉強を進めていたようである。オペラへの転向は、編入学してから2年後からはじまり、研究生の時代に、その準備として三浦先生にレッスンを受けていた。

実は、三浦先生との出会いは、住まいが近いばかりでなく、共通点もあった。三浦先生は、音楽大学の出身ではなく、明治大学の合唱部の出身であるという。いわゆる一般大学の出身である。別府君も最終学歴は千葉大学大学院工学研究科修士として紹介される。この出身は、オペラ歌手においては非常にレアなこと

千葉大学大学院を一年遅れて修了した別府君は、4月からは藤原歌劇団の養成所に入団した。入団試験を通り抜けたことである。当時の別府君は、進路が決まり、修了式でも元氣のある様子であった。藤原歌劇団で3年間を過ごし、三浦先生と同じく、国際ロータリー財団の奨学生としてイタリアに留学した。この時、ソプラノ歌手の寺田彩さんという伴侶を得て、一人でイタリア留学を果たした。2010年

インターネットの時代、あるとき別府君から公演のお知らせが来た。何回か見せて頂いているが、2017年3月5日は、オペラ「よさこい」が新国立劇場中劇場で開催された。開催一日目、3月5日に別府君が出演した。写真の知恵者歌京の役であった。東京公演の後、はりやま橋の高地でも開催された。2018年4月29日に、久我山会館で、「ドンジョヴァンニ」の主役を演じた。その時の挿入曲「Never Don

オペラ歌手は、いわゆる声楽家でもあるが、両者の違いとしては、「オペラ歌手」は衣装を着てメイクし歌うのだから、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第27期生修了者である。一方、声楽家はコンサート歌手として渡伊。ミラノ音楽院にて声楽、アルテシエニ(舞台表現法)を学ぶ。筆者は2021年10月9日に、現代詩家、茨木G・ロルミ、L・マルツァリアの各氏に師事し、北九州シティオペラ正団員、藤原歌劇団員。

「よさこい節」の衣装の別府氏



「よさこい節」の衣装の別府氏

「よさこい節」の衣装の別府氏



「ドンジョヴァンニ」の衣装の別府氏

「啓」を別府君に歌って頂いた。バリトンでの歌唱は、通常は女性の歌声であるが、コロナ対策への不十分さを重ねて、「まだ、まだ」と圧倒的に訴えてくれた。

オペラ歌手の神髄は、多くの演者とともにストーリーを歌曲で伝える点にあるが、ただの台詞とは違って圧倒的な迫力がある。神髄は、「タイトルロール」を歌うことであるという。既に行っていることではあるが、一層精進して力量を発揮してほしい。

【註1】別府真也・佐藤建吉、船橋市三山の10年間風況データの解析と評価、(平成15年、2003) [https://www.istage.jst.go.jp/article/weasym/2019/25/025\\_0193/O3](https://www.istage.jst.go.jp/article/weasym/2019/25/025_0193/O3)

【註2】別府真也・佐藤建吉、船橋市三山の10年間風況データの解析と評価、(平成15年、2003) [https://www.istage.jst.go.jp/article/weasym/2019/25/025\\_0193/O3](https://www.istage.jst.go.jp/article/weasym/2019/25/025_0193/O3)